



大阪・関西万博 ～ イベント～

淡路花博25周年記念花みどりフェア 基本計画(案)

2024.2.8



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

HANA MIDORI FAIR 2025

1. 全体概要

- (1) 開催概要 1
- (2) これまでの歩み 3
- (3) 淡路島を取り巻く環境の変化とフェアの方向性 4
- (4) 開催理念と開催テーマ 5
- (5) 推進体制 6

2. 会場

- (1) メイン会場
 - ① 淡路会場 7
 - ② 洲本会場 8
 - ③ 南あわじ会場 9
- (2) サテライト会場 10

3. 展示・行催事計画

- (1) 展示・行催事計画の基本的な考え方 11

4. 各会場へのアクセス 12

5. 駐車場計画 13

6. 広報計画

- (1) 広報計画の基本的な考え方 14

7. 協賛・収益計画

- (1) 協賛・収益計画の基本的な考え方 15

8. 推進スケジュール 16

開催趣旨

- 2025年は、私たちの身近にある花やみどりを愛し、育てることを通じて「人と自然のコミュニケーション」の望ましいあり方を追求し、地球環境の保全と創造に寄与することを願って開催した国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」(淡路花博)から25年の節目を迎える。
- 淡路花博の開催から四半世紀が経過し、気候変動に伴う災害の激甚化といった地球規模の環境問題が顕在化する一方で、世界的なSDGsへの関心の高まりや、コロナ禍をきっかけとした淡路への企業・人材の流入等、淡路島を取り巻く環境は変化している。
- また、2025年には「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・関西万博が開催される。国内外からの多くの来場者に淡路の魅力を知ってもらえる絶好の機会でもあり、花みどりフェア2025をプレイベントとして位置づけ、地域をあげて機運を醸成する。
- これらを踏まえ、これまで育み、蓄積してきた人と自然の持続的な共生のあり方をレガシーとして継承・発展させるとともに、万博の機会を捉えて国内外に効果的に発信していく。「見て楽しむ」だけでなく、その良さを「生で感じてもらう」体験型のイベントを取り入れるなど、「来て・見て・体験」することで、人と自然の持続的な共生のあり方を学ぶきっかけづくりとする。

開催テーマ

「自然と生きる、いのちをつなぐ淡路島」

マスコットキャラクター

「ジャパンフローラ2000」のマスコットキャラクター「ユメハッチ」を活用
(永田萌先生と調整)



「ジャパンフローラ2000」のマスコットキャラクター「ユメハッチ」

開催概要

名称 淡路花博25周年記念 花みどりフェア

期間 令和7年3月20日(木・祝)～4月27日(日)〔39日間〕

メイン会場 島内3市／①淡路会場(淡路夢舞台、国営明石海峡公園)、②洲本会場(洲本市中心市街地)、③南あわじ会場(淡路ファームパーク イングランドの丘)

主催 淡路花博25周年記念事業実行委員会

淡路花博25周年記念事業実行委員会(78団体)

名誉会長 兵庫県知事

委員長 (一財)淡路島くにうみ協会理事長

委員

あわじオープンガーデン実行委員会会長
淡路おみなの会会長
あわじ環境未来島構想推進協議会会長
淡路交通(株)代表取締役社長
淡路市商工会会長
淡路市長
(一社)淡路島観光協会会長
(一財)淡路島くにうみ協会副理事長
淡路島水産加工業協同組合代表理事組合長
あわじ島農業協同組合代表理事組合長
淡路島酪農業協同組合代表理事組合長
淡路消費者団体連絡協議会会長
(一社)淡路水交會会長
(一社)淡路青年会議所理事長
淡路造園緑化組合組合長
淡路畜産農業協同組合連合会代表理事会長
淡路地区連合自治会会長
淡路日の出農業協同組合代表理事組合長
淡路ふるさと塾塾頭
淡路ブロックいずみ会連絡協議会会長
特定非営利活動法人あわじ緑花協会理事長
伊弉諾神宮宮司
「環境立島淡路」島民会議会長
関西エアポート(株)代表取締役社長CEO
(一財)関西観光本部専務理事
郷土振興調査会代表会長
(一財)神戸観光局専務理事

神戸旅客船協会会長
国際ソロプチミスト淡路会長
国土交通省近畿地方整備局建設部部長
五色町商工会会長
(株)サンテレビジョン代表取締役社長
山陽電気鉄道(株)取締役常務執行役員鉄道事業本部長
神姫バス(株)代表取締役社長
洲本温泉観光旅館連盟「女将の会」会長
洲本市消費者協会会長
洲本市長
洲本商工会議所会頭
生活研究グループ北淡路つたの会会長
全国農業協同組合連合会兵庫県本部県本部長
認定特定非営利活動法人ソーシャルデザインセンター淡路理事長
西日本ジェイアールバス(株)代表取締役社長
西日本旅客鉄道(株)理事近畿統括本部副本部長近畿統括本部兵庫支社長
(一社)日本造園建設業協会兵庫県支部長
日本放送協会神戸放送局局長
(一社)日本旅行業協会関西支部兵庫地区委員会委員長
(公社)ひょうご観光本部理事長
兵庫県淡路県民局長
(公財)兵庫県園芸・公園協会理事長
兵庫県花卉協会会長
兵庫県議会議員(淡路市)
兵庫県議会議員(洲本市)
兵庫県議会議員(南あわじ市)
兵庫県教育長

兵庫県漁業協同組合連合会代表理事会長
兵庫県公営企業管理者
兵庫県造園緑化組合連合会会長
(公社)兵庫県畜産協会会長理事
兵庫県農業協同組合中央会代表理事会長
(公社)兵庫県バス協会会長
(公社)兵庫県物産協会会長
兵庫県まちづくり部部長
兵庫県養鶏協会会長理事
兵庫県酪農業協同組合代表理事組合長
兵庫県立淡路景観園芸学校学長
兵庫県立人と自然の博物館館長
(一社)兵庫県旅行業協会会長
兵庫県旅行業協同組合理事長
ひょうごの美味し風土拡大協議会会長
本四海峡バス(株)代表取締役社長
本州四国連絡高速道路(株)地域連携部部長
南あわじ市商工会会長
南あわじ市消費者協会会長
南あわじ市長
南淡路生活研究グループ連絡協議会会長
(株)夢舞台代表取締役社長

(※50音順)

国際園芸・造園博 ジャパンフローラ2000(淡路花博)

開催意義

- 緑ゆたかな地球環境の保全と創造
- 阪神・淡路大震災の教訓に学んだ安全で快適な新しい公園緑地の提案
- 花と緑を愛し育てることを通じて人々に喜びと感動を与え、互いに参加・協力しあう心豊かな地域社会づくり
- 園芸・造園の知識と技術を集大成し、成果の展示と新技術の提案を行い、園芸造園産業の発展と国際的な振興をはかる
- 震災復興のアピールと世界都市・関西の形成への貢献

テーマ 人と自然のコミュニケーション

理 念	環境	自然環境の保全・創出・回復・再生
	継承・発展	人と自然の共生の心の継承
	淡路からの発信	淡路島から新しい花みどり文化の発信



淡路花博の理念を継承・発展

淡路花博2010 花みどりフェア

テーマ 人と自然の新たなコラボレーション

理 念	環境	地域から取組む新たな地球環境の創造
	継承・発展	人と自然の協働と豊かなところによる新たな共生空間の形成、継承・発展
	淡路からの発信	環境立島「公園島淡路」から新しい花みどり文化の発展

淡路花博2015 花みどりフェア

テーマ 人と自然の共生のステージ

理 念	環境	環境の世紀にふさわしい持続可能な社会の実現
	継承・発展	新たな時代の人と自然の共生の継承・発展
	淡路からの発信	全島あげての淡路島の新たな魅力の発信

淡路花博20周年記念 花みどりフェア

テーマ みなとつながる「花 緑 食の島」淡路

理 念	環境	地域力の発揮による持続可能な社会の実現を先導
	継承・発展	「持続する環境の島」を次の世代へ継承
	淡路からの発信	潜在的な地域の魅力発信と世界との交流

淡路島を取り巻く環境の変化

これまでのレガシーの蓄積

- ジャパンフローラ2000の開催と、その後3回の花みどりフェアを通じて、花博の理念が浸透
- 淡路島においては、**地域住民主体の「花・緑」に関する取組が根付いている。**

SDGsへの関心の高まり

- 国際的にSDGsの機運が向上しており、本県においても、ひょうご産業SDGs推進宣言事業などSDGsを推進している。
- 生物多様性への配慮が世界的潮流となっているなか、世界各地で自生種を活用した修景等も始まっている。
- 淡路島においても、カーボンニュートラルに資する取組等**SDGsを実践**

コロナ禍をきっかけとした淡路への企業・人材の流入

- コロナ禍やデジタル化の進展により、東京一極集中の潮流が変化
- 淡路島に魅力を感じる、**企業・人材の流入**
- 西海岸には近年、多くの観光スポットがオープン

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催

- 令和7年4月から**大阪・関西万博**が開催され、あわせて、淡路全島でAWAJI島博2025が開催される。



フェアの方向性

- ジャパンフローラ2000から四半世紀が経過し、その先導的な取組が地元に着定してきたことから、今回を最後の花みどりフェアとする。
また、最後を飾る企画として、「花と緑」に関連するイベントに主眼を置き、春期のみ重点的に開催する。
- 「人と自然の共生」を目指してこれまで開催したフェアの理念を継承し、持続可能な社会の実現に向けた地域住民主体の「花と緑」の取組を後世に伝える。
また、中でも、国際的なSDGsの機運向上等を踏まえ、淡路島におけるSDGsの取組を積極的にPRする。
- フェアを契機として、さらなる企業や人材の流入に繋げるため、淡路島の地域資源もPRしていく。
- 大阪・関西万博の機運醸成をはかるとともに、国内外から多数の観光客が訪れるこの機会を活かし、本県への来場者を増加させる「ブースター機能」の役割を果たしていく。

【今回で最後のフェアとする理由】

- ジャパンフローラ2000から四半世紀が経過し、その先導的な取組が地元に着定
- ジャパンフローラ2000の収益を活用した基金が減少
- ガーデンツーリズムなど新たなツーリズムの進展
- 花とみどりの楽しみ方が多様化しており、大規模イベントの実施から日常的・継続的な取組へシフト

開催理念







【環境】……………SDGsに資する取組の普及・先導

【継承・発展】……………人と自然の持続的な共生のあり方をレガシーとして継承・発展

【淡路からの発信】……………これまで育み、蓄積してきた取組や新たな潮流を国内外に発信

開催テーマ

「自然と生きる、いのちをつなぐ淡路島」

環境 【島に根付いているSDGsに資する取組】		継承・発展 【フェアにおいて目指すもの】	
エネルギー	バイオマス燃料や間伐材の有効活用 	竹チップ等によるバイオマス燃料等、島内で自然素材を有効活用する取組が進んでいる。 ▶ 限りある資源を有効活用し、 新たな資源・エネルギーとして価値を高めるとともに、自然への負荷を軽減する取組を広めていく。 (例:竹の進出による被害の現状や駆除運動、竹チップボイラーでの活用方策等SDGsの先進的な取組を現物や映像、パネル等で展示)	
農と食	地産地消 	淡路島たまねぎをはじめとしたおいしい野菜や果物をブランド化し、地域住民はもとより国内外の消費者を魅了している。 (島内のイベント例:淡路島 島サラダフェア) ▶ 来場される様々な人々に「 淡路島産 」の農産物の素晴らしさをPRしていくとともに、エディブルフラワー等の食べ方・育て方等を紹介していく。 (例:エディブルフラワーを原材料とした軽食の提供や寄せ植え体験の実施)	
暮らし	自然	淡路島が持つ花とみどりの魅力を中心とした自然環境の保全・創出 	花とみどりの魅力を活かし、発展させ、次世代へと引き継いでいる。 ▶ 次代を担う若者へ豊かな自然環境を、さらに引き継いでいく。 (例:あわじ石の寝屋緑地の「いきものたんぼ」等自然保護の取組体験ツアーの実施)
	すまい	自然と共生するライフスタイルの実践 	多彩なアウトドア施設や緑体験コンテンツが開発され、観光客を呼び込んでいる。 ▶ 自然に触れることで得られる「癒やし」や生物多様性への配慮をPRし、自生種による庭造りなど、 花とみどりと共生する暮らしを提案していく。 (例:世界の先進的な自生種による庭園等のパネルに加え、淡路島の自生種や、それらを活用した築庭作業を展示・紹介)
	人	SDGsに資する新たな担い手の萌芽 	我が国の景観園芸の中核人材の育成を先導している。 ▶ これらの芽を1つずつ丁寧に育み、 次代を担う人材を育成していく。 (例:地域の景観園芸リーダー人材育成プログラムの実演や園芸療法の体験)
	しごと	自然を活かした観光産業や地場産業等の発展 	あわじ花さじき等、自然を活かした観光産業、線香や淡路瓦など自然素材を活かした地場産業などが古くから根付いている。 ▶ これらを用いて 淡路島の地域資源や観光資源を効果的にPRしていく。 (例:島内観光施設等をサテライト会場とし、HP、YouTubeでの発信やツアーの企画による体験を実施)

淡路からの発信

これまで育み、蓄積してきた取組や新たな潮流を国内外に発信

国、県、淡路3市、関係団体等で構成される淡路花博25周年記念事業実行委員会を設置する。
 実行委員会の下に行催事等の検討を行う企画委員会を設置し、関係者の協力により開催準備等に取り組む。

実行委員会

- 名誉会長 …………… 兵庫県知事
- 委員長 …………… (一財)淡路島くにうみ協会理事長
- 委員 …………… 国、県、淡路3市、関係団体等の代表



主な役割

- 祭典の開催および運営に必要な企画、準備
- 祭典の開催に必要な施設および設備の整備
- 関係機関および関係団体との連絡調整

顧問

企画委員会

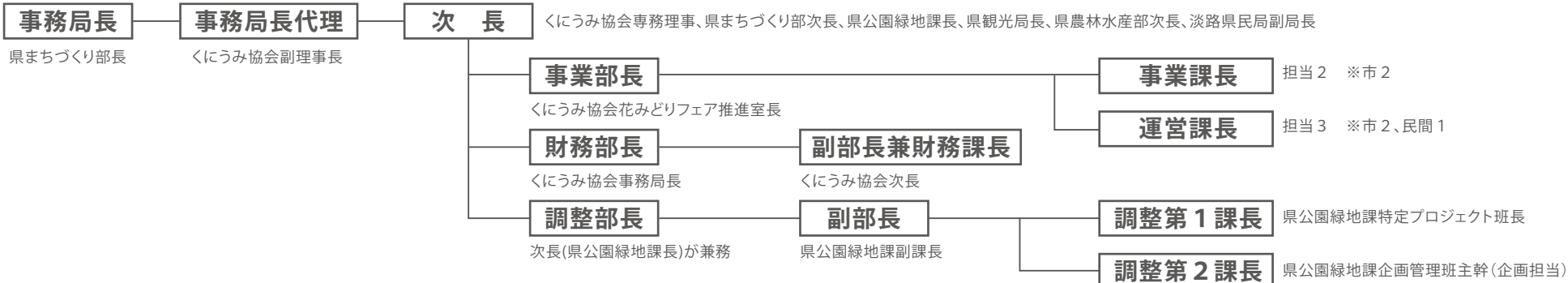
- 委員長 …………… 中瀬 勲(兵庫県立人と自然の博物館 館長)
 (各分野の有識者、関係行政機関及び関係団体の代表で構成)

主な役割

- 祭典の実施に向けた企画案の立案
 および事業実施に向けた監修

実行委員会事務局

※(一財)淡路島くにうみ協会内に設置



1 淡路会場

会場	特徴
国営明石海峡公園	「海辺の園遊空間」をコンセプトに、雄大な花とみどりの空間や池、せせらぎ、小高いテラス、芝生広場、夢っこランド(大型複合施設)等で構成された公園施設。四季折々の花とみどり、憩いと遊びの空間を提供している。
淡路夢舞台	グランドニッコー淡路、百段苑、あわじグリーン館(温室)、野外劇場、国際会議場、展望テラス(レストラン等)等で構成された施設群。宿泊、会議等が可能な他、多彩な植物と演出のある温室は大規模改修(R6.4.1~R7.3.1まで)を行う。



百段苑



あわじグリーン館



花火鳥



花畑



花の中海



夢っこランド

2 洲本会場

会場	特徴
<p>洲本市中心市街地エリア</p>	<p>交通の要所である洲本バスセンター周辺には、市民広場や文化体育館、図書館等の市立施設、洲本アルチザンスクエアやS BRICK(旧鐘紡工場跡赤レンガ倉庫)等の施設が集積している。加えて、近隣には大浜公園や洲本城跡、国指定名勝の旧益習館庭園、洲本レトロこみち、洲本温泉旅館街等のスポットも散在している。</p>



洲本市文化体育館



洲本アルチザンスクエア



大浜公園



洲本城跡



旧益習館庭園



洲本レトロこみち

3 南あわじ会場

会場	特徴
淡路ファームパーク イングランドの丘	イギリスの湖水地方をイメージしたテーマパーク。お花畑ややさい畑、遊びの広場、野外ステージ等を有する「イングランドエリア」と、コアラ館、ワラビー広場、ロックガーデン、植物館等を有する「グリーンヒルエリア」の2つのエリアにより構成されている。

淡路ファームパーク イングランドの丘



入園ゲート



チューリップ



コアラ館



遊びの広場

淡路の魅力を感じていただく

具体的な取組

- 淡路島の魅力である花と緑を一番のPRポイントとして捉え、フェア期間中、来島すればいつでも花とみどりが楽しめる環境を構築する。
 - ▶ 集客の目玉となる行催事を行う。
 - ▶ 「見て楽しむ」だけでなく、その良さを「生で感じてもらう」、体験型のイベントを取り入れる。
- 「淡路産」の農産物について、「食」に加え、栽植も含めた素晴らしさを体感いただく行催事を行う。

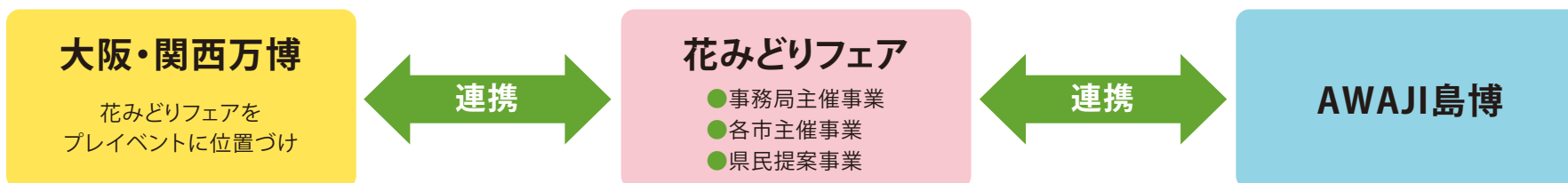
淡路の素晴らしさを磨き上げ、レガシーとして継承していく

具体的な取組

- 自生種を活かした庭づくり等、花とみどりと共生する暮らしのあり方を提案していく。加えて、花とみどりを育て発展させてきた人々の歴史も伝える。
- SDGsに資する展示・行催事を企画・立案・実施する検討過程で地域住民の協力を積極的に得る。中でも、地域の若者のアイデアを積極的に取り入れ、次代の魅力ある淡路島を担う人材を育てていく。
- 竹チップ等によるバイオマス燃料の活用等、自然への負荷を軽減する取組を広めていく。
- 島内に点在する地域資源を繋ぎ合わせるとともに磨き上げ、フェア開催後も持続可能な観光資源として仕立て上げる。

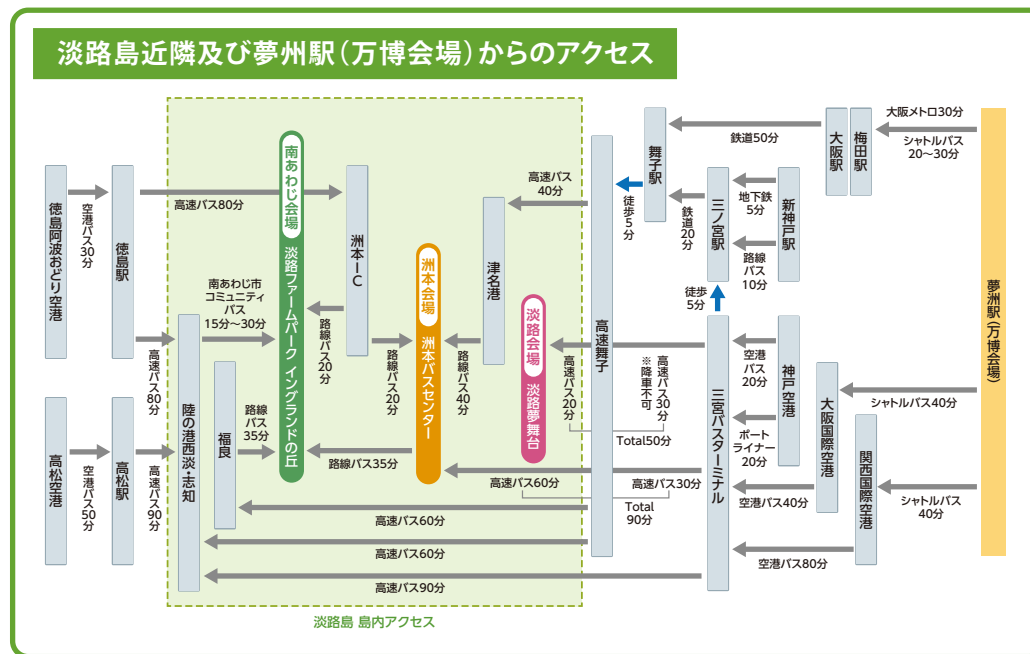
※事務局主催事業の他、各市主催事業、県民提案イベントを実施する

[参考] 同時期に行う他イベントとも連携をはかる



車のアクセス、国内主要交通機関、淡路島近隣及び夢州駅(万博会場)から島内メイン会場へのアクセスは下図のとおり

車のアクセス	国営明石海峡公園・夢舞台	洲本市中心市街地	淡路ファームパークイングランドの丘
大阪市内から	約70分	約100分	約100分
神戸市内から	約40分	約70分	約70分
徳島市内から	約70分	約50分	約50分





① 夢舞台地下駐車場	② 海岸南駐車場	③ 淡路口駐車場	④ 臨時駐車場	合計
600台	158台	516台	500台	1,774台 (前回:4,280台)

※ 淡路会場周辺は駐車場の変化が大きいため、先行して検討。洲本会場、南あわじ会場についても実施計画時に検討する。

※ SDGsを標榜するイベントでもあり、極力公共交通機関を利用するよう強く呼びかける。(公共交通機関の利用にかかるポータルサイト等を検討)

※ ③淡路口駐車場は、令和6年度に再整備予定。フェア開催までに整備が完了する予定のため、再整備後の駐車可能台数を記載

基本的な考え方

基本的な
広報活動

「淡路花博25周年記念 花みどりフェア」を広く「知ってもらう」

花みどりフェアの開催と理念を幅広く周知するため、効果的な広報手段を検討し、国内外に発信。
淡路島の豊かな“花と緑”の景観と共に発信することで、フェア期間内の誘客を広く図る。

手法例 ▶ チラシ、ポスター、ホームページ、Instagram・X・YouTube等のSNS、広報誌等の活用

発展的な
広報活動

「淡路花博25周年記念 花みどりフェア」に「来てもらう」

花みどりフェアへの来場者を増やすため、ターゲットを設定して効果的な広報を実施。
行催事計画ごとに設定するターゲットに届く広報手段を検討し、発信する。

ターゲット例 ▶ 花と緑に興味がある方・インバウンド・関西圏観光客・首都圏等観光客・万博来場者等

手法例 ▶ プレスリリース、ツアーの企画、インバウンド向けWEBメディア・各種広告等の活用

主な広報スケジュール

花みどりフェア開催の1年前より広報活動を開始。

▶ ①本フェアへの機運醸成を図る。②SNSアカウントのフォロワー獲得施策により、発信ツールとして機能するための土壌づくりを行う。

年月	R5年度				R6年度												
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実施内容			プレスリリース (1年前イベント) ●			プレスリリース (ロゴ・キャラクター) ●										プレスリリース (開催前) ●	
				HP・SNS ●													
						旅行会社向けPR ●											
											インバウンド向け告知 ●						
											各種広告等 (首都圏向け) ●						
													各種広告等 (関西圏向け) ●				
																	開催

基本的な考え方

▶ 花みどりフェアの企画の充実・効果的な事業実施のため、企業・団体等への協賛活動を行う。

協賛区分の種類を増やし、内容を充実させた協賛活動を実施する。

種別	区分	内容
全体事業協賛	資金協賛	事業全体の実施・運営に必要な資金の提供
	物品・施設協賛	実施に要する物品や施設等の提供
	広報協賛	保有媒体が持つ広告の提供
個別事業協賛	特別協賛	事務局が実施する展示や行催事の実施運営に必要な資金の提供
	展示・行催事協賛	企業等が実施する独自の展示や行催事の提供

▶ 様々な方策を検討し、収益を強化する。

花みどりフェアに係る広報ツールや行催事計画により、収益を生み出す仕組み作りを行う。

【方策例】

方策	内容
広告収入	花みどりフェアガイドブック等に広告枠を設け、広告収入を獲得。
イベント会場	イベントへの出展料、入場料収入を検討。
クラウドファンディング	地元で計画するイベント等について、ストーリー性のある事業をピックアップしてクラウドファンディングを活用した資金調達を検討する。

